



生徒会スローガン「一生懸命が、カッコいい！」くわでいーさー＝モモタマナ(樹木)

中城中学校
だより

くわでいーさー

令和3年(2021年)11月16日発行
発行者 安田智
電話 098-895-3271
No.24

村内3小学校教諭等が中学生の授業を参観！ 公開授業を通して指導力を高める！！

毎年11月に村内の3小学校と中城中学校の4校の輪番で公開授業を通して、先生方の指導力向上を高めるとともに、学校間のたすきをつなぐための情報交換の場として、中城村校種間交流研究授業が取り組まれています。昨年度は中城中学校が授業を公開する番でしたが、コロナウイルスの影響で中止となり、今年度に持ち越されました。コロナ感染状況も減少傾向になり、11月5日に国語、社会、数学、理科の4教科で実施することが出来ました。また、琉球大学教育学部との連携協力もあり、本番の授業に向けての指導案検討会も実施され、「主体的・対話的で深い学び」の視点を持ち全先生方の指導力につなげる公開授業に臨みました。全教科とも生徒たちが、学習意欲を持って先生方の説明を集中して聞き取り、グループ学習で課題について話し合ってみとめ、その内容を共有するために各グループの発表を行っていました。授業者の先生たちは、生徒たちの思考力や協調性、発表力など生徒の資質能力を高める授業を行っていただきました。

当日の参観者は、国語に31名、社会に24名、数学32名、理科に23名の先生方が参観し、授業後は、授業研究会で授業内容について検討されました。授業公開に協力した2年1組、2年3組、3年1組、3年4組の生徒皆さんありがとうございました。

国語 2年1組 授業者 宮里佐津紀先生

○単元名 言語発見⑤ 方言と共通語
めあて プレゼンテーションを通してウチナーグチの魅力伝えよう。

◎沖縄関連の内容を前時調べ、沖縄方言(ウチナーグチ)使って各グループごとに分かりやすく紹介した。

■指導助言者 琉球大学教育学部 教授 上江洲朝男



↑発表の注意点を説明する佐津紀先生

←ウチナーグチでプレゼンする生徒たち

↓授業研究会の様子



←出されたウチナークイズに答えようとする生徒たち



社会 3年1組 授業者 新垣さゆり先生

○単元名 これからの日本の財政
 めあて 少子高齢化が進むなか、これからの日本の財政をどう進めていくか
 ◎日本の財政が抱える課題について、各グループで自分の意見を出し合って検討し、これからの日本の財政についてグループごとに発表した。

■指導助言者 琉球大学教育学部 准教授 島袋純



↑ 財政のデータを説明するさゆり先生



↑ グループで意見交換



↑ グループごとに発表



↑ 授業研究会の様子

数学 3年4組 授業者 狩俣江梨香先生

○単元名 5章 相似な図形
 めあて 直接測定できない木の高さは、どのように求めたら良いか？
 ◎相似比の活用として、各グループに身近な樹木の高さを求め、グループでまとめた内容を発表した。

■指導助言者 琉球大学教育学部 准教授 湯澤秀文



↑ 相似比の利用について説明する江梨香先生



↑ 樹木の高さを求める方法を探る生徒



↑ 高さの求め方を説明する生徒



↑ 授業研究会の様子

理科 2年3組 授業者 大城盛公先生

○単元名 天気とその変化 第2章 雲のでき方と前線
 課題 雲はどうして高いところでできるのか？
 ◎「高いところになぜ雲ができるのか」の疑問に、エキスパート活動を取り入れ、ジグソー的に考えを組み合わせたりして、課題のよりよい解答を導き、まとめた内容を発表した。



↑ 発表するときの注意点を説明する盛公先生



↑ エキスパート活動後、ホワイトボードにまとめる様子



↑ グループでまとめ内容を前に出て説明する生徒たち



↑ 授業研究会の様子